

3. 超過時の対策実施状況 (対象期間: 6月1日～6月30日)

No.	発生年月日	超過内容	原因	対策	対策完了年月日
1	2005.6.6	東銑鋼排水溝 SS 57mg/l	沈殿池の污泥堆積状況や前後の 運転条件・水質には問題がなく原因 が特定できませんでした。	沈殿池の後段にろ過器を設置し ました。	2006.1設置
2	2005.6.5	西7号 COD 34mg/l	周辺の路上等の汚れが雨水に押し 流されたためと推定されます。	路上の汚れの原因となるダンプト ラックの通行路を変更しました。	2005.6
3	2005.6.22	西4号 COD 29mg/l	周辺の路上等の汚れが雨水に押し 流されたためと推定されます。	原料ヤードの鉱石・石炭類の粉を 清掃し、ヤードと道路の間を0.3m 嵩上げて流出を防止しました。	2005.7
4	2005.6.22	西6号 pH 9.6	スラグからのアルカリ分を含んだ湧 水が降雨により大量に流れ込み中 和剤と十分混合しないままセン サー部へ到達したため。	西6号から公共水域へ排水しない ようポンプでの汲み上げ対策を 実施済みです。測定値は超過し ていますがこの水は公共水域へ 直接排水されていません。 また中和能力の増強も実施しまし た。	2005.7
5	2005.6.22	西総合汚水 COD 20mg/l P 1.8mg/l	雨水混入により要処理量が増え、 一時的に負荷物質を十分沈降させ ることができなくなったため。	水処理設備周辺において2箇所 のマンホールを嵩上げし、雨水の 流入を防止しました。	2005.7実施

6	2005.6.20	活性汚泥排水溝 溶解性マンガン 3.1mg/l	シアンを処理するために使用している塩化マンガンが水に溶解してしまったため。	現在は塩化マンガンの使用を中止しています。 今後処理剤を使用するために、マンガンの除去が十分行えるよう沈殿槽のpH管理を行うことを検討しています。またマンガン系以外の処理剤を検討しています。	2005.6
---	-----------	-------------------------------	---------------------------------------	--	--------

()内は基準値